

2026 海員春闘 全国各地で現場集会を開催
組合員の意見を集約 海でつながる仲間の力!未来を動かす海員春闘

2026年の海員春闘（労働協約改定）は、要求書を策定するにあたり、1月6日から2月16日までの大衆討議期間中、全国各地の現場組合員の意見集約を行うため、訪船や集会を実施し、外航・内航・沿海・港湾・水産それぞれの部門の意見をまとめ、現場と執行部間の意思疎通・共通認識を図った。また、現場組合員の意見集約は、2月17日に開催された第81年度外航部委員会、水産部委員会、国内部委員会それぞれの委員会で論議され、各部門での労働協約改定闘争方針が承認された。関東地方支部管内の各支部（新潟支部・三崎支部・静岡支部）の労働協約改定要求案に対する主な意見・要望は次の通り。

新潟支部=主な意見・要望

新潟支部は新潟西港および直江津港～佐渡島を結ぶ佐渡汽船、村上市・岩船港～粟島を結ぶ粟島汽船、新潟東西港と直江津港にタグボートを配置する日本海曳船、水先艇業務の新潟水先、水産部門の大倉漁業を担当しており、大衆討議期間中、訪船や陸上集会を行い、現場組合員との質疑応答や意見交換で共通認識を深めた。現場組合員からの主な意見や要望は▽食料金の改定を求めたい。要求額は執行部に一任したい▽駐車場補助の見直しを求めたい▽ベア方針に異論はない。今年も期待する一などの声が多かった。

「海員だより」